



【総会スローガン】

- 平和的生存権・人間の尊厳を守る立場で、国連憲章・国際法に反する暴力・戦争を止めるために行動しよう
- 大軍拡を止め、多様性の尊重・ジェンダー平等といのち第一の政治を実現するために、共同組織とともに、地域から人権・公正の波を起こそう
- 70年の歴史を力に、「ケアの倫理」を深め、「2つの柱」の全面実践で、「人権の砦」たる民医連事業所を守り、発展させよう

# “だれ一人取り残さない”取り組みへ

## ～「ケアの倫理」Café 実践交流集会に45県連300人が参加～

『各地の「ケアの倫理」caféの実践を交流し、各県連・事業所・職場の取り組みに生かす』ことを目的に、7月9日の午後、オンラインで開催しました。前段で全体に6つの県連からご報告いただき、後段では地協に分かれて交流しました。



どの報告も、取り組みの工夫そのものに「ケアの実践」が貫かれているのが特徴的

### 全体会での6つの実践報告 要旨



- 青森 推進体制を確認し、各法人集約担当者は報告される数や感想をチェックするだけでなく、報告が上がってこない職場がないかを確認して声かけを行っている。声をかけることがケア。
- 群馬 職責者研修会で“模擬 Café”を行ってからスタート。誰一人取り残さない取り組みを重視。参加できなかった職場には説明にお伺いし、進んでいる所にはインタビューして全体に紹介。
- 奈良 スピード感を持って“とりあえずやってみる”。取り組めていない職場には“対話を通して”取り組む側に立って一緒に考える。青年育成にも大きく関わる取り組み。
- 山梨 制度教育で取り組むための準備段階の議論を通して、教育委員会側の圧倒的な学習不足を認識し、外部企業の力も借りて、講師育成講座を実施中。研修講師を受講生が担う予定。
- 山口 “ケアの倫理カンファレンス”を全職員対象にハイブリッドで開催。“ケア”という見えない不確かなものを具現化するための探求を多職種で行っている。ジレンマなど心の声を傾聴する事がケアになる。
- 兵庫 医局では、“読む”より“聞く”ことで、プレッシャーがないのでは？と考え、「読み合わせ」ではなく「読み聞かせ」形式に変更。取り組む中で、医師もまた、ケアされるべき存在であることが浸透し、医局に“あたたかさ”が育まれている。

#### 【参加者の感想から】

- 取り組めていない職場にこそ声をかける。ちゃんと対話する、職責者をケアするという視点は大事だと思いました。
- 集団でCaféに取り組む中で自分がケアされた気持ちになる。日々、つらく大変な医療介護現場で、Caféは今、本当に必要なものではないか。
- 選挙で、人権を軽視する(そもそも存在すら認めないような)発言が如何にも正しいかのように飛び出す今の時代に、民医連が「誰のために」「なんのために」存在してきたのか、そして「どこに向かっていけばいいのか」を少しでも感じ考える場、そして自分たちのケアに自信をもてるCaféにしたいと、改めて思いました。



#### ホームページのご活用を



<https://www.min-iren.gr.jp/>  
会員ページ>職員育成部>「ケアの倫理」café 各地の取り組み  
※集会動画 & 概要報告をアップしましたので、ご活用ください。